

たねと食と人@フォーラム 様

公開質問状の御返答

平成 28 年 11 月 28 日

平田産業有限会社

代表取締役 平田繁實



1)

1998 年 1 月より開始しました。

2)

南オーストラリア州のカンガルー島で生産されました菜種種子は島内の Kangaroo Island Pure Grain 穀物集荷基地（カンガルー島の農業生産者が 100% 出資し設立しました、穀物取り扱い会社）へ持ち込まれ、決められ諸検査を行い、合格品のみを受け入れサイロに保管。

当社の製造スケジュールに沿ってカンガルー島から専用トレーラーで州都アデレードの Kangaroo Island Pure Grain 穀物施設へ移動保管、輸出に向けた最終品質検査を実施し、同基地で 20 t コンテナへの積み込みを行う。

博多港で荷揚げされたコンテナの菜種種子は、国の輸入農産物諸検査を受け後、弊社甘木工場へ運び、コンテナの扉を初めて開けて

300 t 菜種サイロに受け入れします。

3)

変更予定はありません。

4)

非遺伝子組み換え原料菜種の手当では年々困難になって居ます。

GMO 菜種に比べて 50%程割高です。